

## Top message

ト ッ プ メ ッ セ ー ジ

株主の皆様におかれましては、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、当社第28期第2四半期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、これまで比較的好調であった中国を始めとするアジア地域への輸出に鈍化傾向が見られ、欧米地域における金融不安に伴う景気減速、さらには急激な円高の進行など、極めて厳しい経営環境が続きました。また、デフレ傾向の強まりや政策効果の息切れ観測など自律回復にはほど遠く、先行きの不透明感が払拭できない状況の中で推移しました。

内外のカーアフターマーケットにおきましても、前述の経営環境を背景とした不景気から需要は低迷しました。特に国内においては個人所得の減少、依然として高い水準で推移する失業率など、購買意欲が高まりにくい状況が続きました。また、補助金制度などにより好調に推移した新車販売動向に牽引される自動車メーカー向け部品と異なり、用品市場においては需要の回復に遅れが見られ、さらにはデフレ傾向による価格競争の激化など依然として厳しい経営環境で推移しました。

このような情勢のもと当社グループでは、第1四半期より発売を開始した全長調整式ショックアブソーバのエントリーモデル、「BASIC FLEX DAMPER」の拡販に力を注ぐとともに、引き続き国内・海外の各地域における市場特性などを考慮した各種のキャンペーンをおこない売上の向上に努めてまいりました。

製品開発におきましては、比較的に改裝率の高い車種向け製品の優先的な開発を始め、今後の新製品展開の準備に着手するとともに、品質向上に向けた構造的な研究も推進してまいりました。

一方で、営業所の統合による合理化や資材を中心とした原価低減活動など、固定費変動費の一層の低減による高利益体質への取り組みにも力を注いでまいりました。

しかしながら、カーアフターマーケットでは国内を中心に市況の停滞感が強く、前述のように需要回復に遅れが見られる中、特に第2四半期においては為替の円高傾向がさらに強まるなど、極めて厳しい経営環境となりました。

これらの結果、本意ながらも、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,564百万円、経常利益34百万円、四半期純利益32百万円となりました。

株主の皆様の変わらぬご支援にあらためて感謝を申し上げますとともに、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

市 野 諮



TEINI®

For Your Driving Pleasure



テインの信頼と実績の象徴、  
「ダンパッチ」です。

株主・投資家の皆様へ

第28期

株式会社ティン  
中間のご報告

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

JASDAQ

証券コード：7217

## ◎ 財務情報

### ■ 四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前四半期連結累計期間 平成21年9月30日現在	当四半期連結累計期間 平成22年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	2,832	2,750
固定資産	582	514
有形固定資産	364	281
無形固定資産	39	35
投資その他の資産	179	198
<b>資産合計</b>	<b>3,414</b>	<b>3,265</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	430	403
固定負債	318	330
<b>負債合計</b>	<b>749</b>	<b>734</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	2,759	2,649
資本金	217	217
資本剰余金	215	215
利益剰余金	2,732	2,637
自己株式	△406	△421
評価・換算差額等	△93	△118
為替換算調整勘定	△93	△118
<b>純資産合計</b>	<b>2,665</b>	<b>2,531</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,414</b>	<b>3,265</b>

### ■ 四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
<b>売上高</b>	<b>1,625</b>	<b>1,564</b>
売上原価	979	957
売上総利益	645	606
販売費及び一般管理費	602	558
<b>営業利益</b>	<b>43</b>	<b>48</b>
営業外収益	58	10
営業外費用	67	25
<b>経常利益</b>	<b>34</b>	<b>34</b>
特別利益	0	4
特別損失	0	2
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>34</b>	<b>36</b>
法人税等	134	4
少数株主損益調整前四半期純利益	—	32
<b>四半期純利益（△は損失）</b>	<b>△100</b>	<b>32</b>

### ■ 売上高（第2四半期累計）

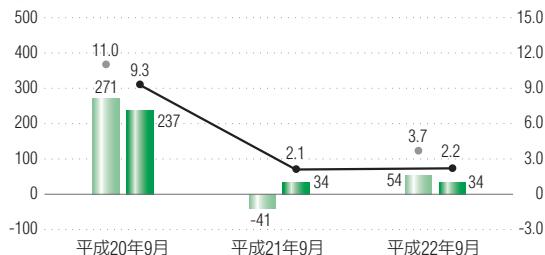
単位：百万円



### ■ 経常利益（第2四半期累計）

単位：百万円

単位：%



### ■ 地域別売上高（第2四半期累計）（連結）

単位：百万円

注）上記区分に属する主な国  
 北米：アメリカ、カナダ  
 アジア・オセアニア：  
 中国、台湾、香港、  
 オーストラリア  
 欧州：イギリス



## ◎ 今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く国内外の経営環境につきましては、欧州における金融不安の緩和が観測され、また各国通貨安競争の様相に対してG20において誘導回避で一応の合意が見られましたが、世界的な景気の回復にはまだ時間を要することが予想されます。また、国内では近年において記録的な円高傾向が続いており、また長引く雇用や所得への不安、各種の補助金制度などの政策効果の息切れ感やデフレの長期化など、景気の2番底への懸念が払拭できない状況が続くものと考えられます。

当社グループの属するカーアフターマーケットは、自動車メーカーへ納入する部品市場とは異なり、新車販売動向に左右されにくい反面、長引く雇用や所得への不安などが消費マインドを萎縮させ、特に比較的高額な商品は消費動向の影響を直接的に受けやすいという側面があります。現状においては需要の回復に遅れが生じており、また回復の目処が予測しにくい状況でもあります。こういった状況の改善にはなお一定の期間を要することが考えられ、さらにはデフレ傾向による価格競争の激化なども想定されます。

当社グループといたしましては、このような経営環境の中、ボリュームゾーンへの新製品投入を来春に予定するとともに、国内外を対象とする広範囲な営業活動に注力してまいります。また、市場要求に適合する製品の開発、徹底した固定費や経費の削減、生産体制の継続的な改善など、業績回復に向けた取り組みを引き続きおこなってまいります。しかしながら、当期における新製品効果は限定的と考えられること、また前述の経済情勢を背景として、需要の回復が予測しにくい中、当面は厳しい状況での展開が継続することが予想されます。

このため、通期の連結業績予想といたしましては、以前にご案内差し上げました予想を修正し、売上高2,998百万円、経常損失19百万円、当期純損失18百万円を見通しとしております。

平成22年12月

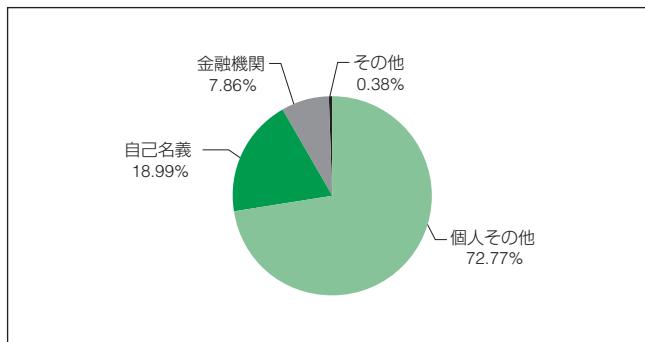
## ◎ 株式情報

### ■ 株式情報 (平成22年9月30日現在)

発行済株式の総数 6,652,250株

株主数 876名

#### 所有者別株式分布



### ■ 大株主 (上位10位) (平成22年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
市野 諒	2,920,800	43.9
株式会社ティン	1,263,450	18.9
藤本 吉郎	522,000	7.8
市野 ルリ子	198,400	2.9
株式会社横浜銀行	195,000	2.9
日本生命保険相互会社	195,000	2.9
株式会社西京銀行	131,100	1.9
小島 宣保	129,000	1.9
市野 澄恵	121,500	1.8
ティン従業員持株会	63,140	0.9

## ◎ 新製品紹介



写真はトヨタ アルファード用

### 「BASIC FLEX DAMPER」

快適な乗り心地の全長調整式車高調をお求めやすい価格で！セダン、ワゴン・ミニバンなどカテゴリーを問わない幅広いラインナップ。新セッティングと新設計パーツを搭載し、アッパーマウントの付属によりイーージーインストールも可能にした全長調整式ショックアブソーバの高品質エントリーモデル。



写真は日産 スカイライン用

### 「SPECIALIZED DAMPER」

「好きな車で楽しむ」車好きの原点に立ち返り、あらゆる車種に対応する特注製作のスペシャルダンパー。量産品とは異なり、ユーザーのご希望に沿ったフルオーダーメイドでひとつひとつを手作り製作。ナンバーワンからオンリーワンの時代において、ユーザーの皆様へ高い満足感をご提供することを約束するダンパー。

## ■ 会社概要 (平成22年9月30日現在)

商号	株式会社テイン (TEIN,INC.)
設立	昭和60年2月28日
所在地	本社工場 横浜市戸塚区上矢野町995-1 TEL 045-810-5511 (代表) FAX 045-810-5512 TEL 045-810-5501 (製品のお問合せ) IR (投資家向け広報) 担当TEL 045-810-5511 (代表)
資本金	2億1,755万円
従業員数	136名 (社外への出向者、契約社員および臨時従業員は含まず。)
事業内容	自動車用サスペンションを始めとする自動車用品の製品開発、設計製造、販売および輸入自動車用品の販売。
代表者	代表取締役社長 市野 諒
役員	専務取締役 藤本 吉郎 取締役 那須 賢司 取締役 武井 共夫 弁護士 監査役 佐々木 洋人 監査役 奥川 貞夫 監査役 原 真志
	(注) 1. 取締役武井共夫氏は、社外取締役であります。 2. 監査役奥川貞夫氏及び監査役原真志氏は、社外監査役であります。
取引銀行	株式会社三井住友銀行、株式会社横浜銀行
事業所	仙台営業所 仙台市宮城野区萩野町3-13-3 横浜営業所 横浜市戸塚区上矢野町995-1 大阪営業所 大阪府箕面市西小路3丁目2-14

## ■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催します。
基準日	
定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日
	(中間配当金の支払いをおこなう場合)
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理入部 (ご照会) ☎0120-707-843
各種手続のお申出先	未払い配当金のお支払い ・株主名簿管理人にお申出ください。 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等 ・証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。 ・証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受けいたします。  
ホームページアドレス <http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>  
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

単元株式数	100株
株式取扱手数料	単元未満株式買取手数料 株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額
公告の方法	電子公告 下記ホームページに掲載いたします。 <a href="http://www.tein.co.jp/ir.html">http://www.tein.co.jp/ir.html</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



メールサービスについてのご案内  
投資家の皆様の利便性向上を図るため、「情報開示サービス」をおこなっております。  
ご利用方法は、下記当社ホームページでご確認ください。  
[https://www.tein.co.jp/investors/irtekiji\\_tourouku.html](https://www.tein.co.jp/investors/irtekiji_tourouku.html)